



編集・発行
上甕中学校 P T A 研修部

所在地・連絡先
薩摩川内市上甕町中甕 191 番地 1
09969-2-0014

第7回幼小中合同大運動会

第七回幼小中大運動会

今年の幼小中合同大運動会は多少の雨を覚悟しての開催となりました。でも子どもたちの力強い選手宣誓やエールの交換からは「大丈夫やり抜く。」という気合いが伝わってくるようでした。今まで練習してきた成果を発揮し、雨にも負けず堂々と競技、演技を行う子どもたちはとてもたくましく、そして素晴らしいものでした。その中でも紅団、白団による応援合戦はキレのある演舞、大きく響き渡る団長、団員の声。さすが中学生という迫力で運動会を盛り上げてくれました。ぐるぐるのバットやあめ食い競争でも全力を尽くし、地域や保護者の人たちを笑わせてくれたのもさすがでした。今年も先生方のご指導と子どもたちの努力、応援してくださったみなさまのおかげでとてもよい運動会となりました。ご尽力くださいました皆様、ありがとうございます。

運動会が無事に終わり、ホッとしました。率先して動く方ではない響希にとって団長は重責で、白団をうまくまとめられず思い悩む日々もあったようです。周囲の協力を得て、みんなで運動会を作り上げ盛り上げることができて本当によかったと思います。来年も素晴らしい運動会ができるように期待しています。

(三年保護者 川畑 富貴子)



第七回幼小中大運動会を終えて

雨の降る中、たくさんさんの感動をありがとうございます。夏休みから始まった応援団の練習。壁にぶつかりながらも、最後の運動会に思いを込めて必死にがんばった三年生。上と下とのつなぎ役として、それぞれの団をまとめてくれた二年生。一年生は初めての演舞で、覚えるのが大変だったことでしょう。みなさんのその練習の成果は、見事に発揮されていました。白団も紅団も息をのむ素晴らしい演舞でした。小学生も一緒になり、元氣いっぱい笑顔が溢れていました。

上中ソーランも力強く迫力ある演技でした。紅白リレーでは、小学生から中学生までの白熱した勝負に、保護者応援席は大盛り上がりでした。

三年生にとっては中学校生活最後の運動会。うまくいかないことも、すべて自分の力に変えて前に進んできた成果と、自信に満ちあふれた姿に、とても感動しました。子どもたち一人一人に感謝の気持ちを込めて、心から「ありがとう」を言いたいです。

(三年保護者 中尾 理香)



地区新人総体

卓球



地区新人戦を終えて

十月十一、十二日の二日間、サンアリーナ川内において川薩地区新人総体が行われ、卓球部

七名が出場しました。初日の団体戦、男子は宮之城中との合同チームで出場し、見事〇部で優勝することができました。女子は人数が少ない不利な状況からのスタートでしたが、一人一人が自分の持てる力を精一杯出すことができました。団体戦が終わった後、どの子も翌日の個人戦に向けて自らの課題を見つけ、修正していこうとする気持ちを十分に感じることができました。

二日目の個人戦、一年生にとっては半年間練



習してきた成果を出す場、二年生にとってはこれまで積み上げてきたことの成果を出す場となりました。それぞれがプレッシャーに立ち向かいながら、一年生の岩下聖也さんが第二位、二年生の内山翔斗さんが第五位に入賞しました。

娘は自分自身の日々の練習不足やプレッシャーに打ち勝つ精神力の弱さを痛感したと言っていました。しかし観客席から応援していた私は、「勝ちたい」という強い気持ちを感じることができたので、娘に大きな拍手を送りたいと思います。

部活動を通して仲間を信じ、お互いに励まし合い切磋琢磨する中で、自分自身に立ち向かっていく強い信念をこれからも持ち続けてほしいと願っています。

(二年保護者 朽木 雄二)

剣道

新人戦 剣道



三年生の引退後、初めての大会でした。

三年生二人が抜け、夏以降歩と太史二人で、がんばる姿を見ってきました。先生方を始め、警察、消防の方々、そして外部の指導者の指導を受けながら、基本から体力作りに至るまで、二

人で支え合い、練習を重ねてきました。周りの方々の支えに感謝し、結果で恩返しできればと、昨年に続き、九州錬成大会出場を目標に新人戦に挑みました。

団体戦は下甕の海陽中と合同チームを組み、五人で出場しました。歩は先鋒、太史は副将を任され、自分の役割をしっかりと果たした結果、予選二位で決勝リーグに進むことができました。準決勝では川内北中に惜しくも3対2で敗れてしまいましたが、結果、団体二位となり、目標だった九州錬成大会出場が決まりました。

個人戦は二人とも二回戦突破とはなりませんでしたが、自ら勝ちに行く姿に成長を感じました。

この大会を

通して、海陽中の生徒との絆も生まれ、子どもたち自身、自分の成長を実感できたと思います。また、引退した先輩二人も時間を見つけては練習を手伝ってくれました。剣道部に関わってくださった全ての方々に対しての感謝の気持ちを忘れず、今後もがんばって行ってほしいです。

(二年保護者 山下 智子)



上中祭

上中祭

Smile~笑顔あふれる夢の世界~



上中祭のオープニング映像で、子どもたちと先生方で上中祭を仕上げるまでの過程がよく伝わり、また笑顔や真剣な表情なども映し出されて、子どもたちがこうやってがんばって来たのかと、思わず涙が出そうになりました。

各学年の劇は、人数が少ないながらも一人一人の個性が生かされ、ユーモア溢れるものになっています。テーマも現在の世の中が問題にしている題材を使ってあり、内容も分かりやすく、しっかりと伝わってきました。忙しい日々の中で、練習を重ね、これほどまでに一生懸命にやっていたかと思うと感動しきりでした。

また、合唱奏も全校が一体となって見に来られた方々を想像以上に驚かせたと思います。子どもたちも先生方も楽しんでやっていたからこそ、感動や笑いのある上中祭になったと思います。地域の方々からも、楽しかった、おもしろかった、よかった等の声をかけていただきました。

日曜日開催ということもあり、観客も多くとても盛り上がった上中祭でした。生徒たち、先生方がひとつになり素晴らしいものを見せていただきました。我が家でたまに録画したものを見て、楽しませてもらっています。

(二年保護者 岩下 佐枝子)

上中祭

とても楽しみにしていた上中祭が開催されました。

まず英語科のスキット、暗唱、弁論。素晴らしい発音で発表していました。

演劇では、一年生は初めての上中祭で緊張したと思いますが、甕島の環境について調べたことをテーマに、浦島太郎の話を取り入れ、劇中、歌やお笑い、ダンスなど



のパフォーマンスも組み入れ、たくさん笑いと拍手で包まれました。二年生はシンデレラの物語を元に、一人一人が役になりきり、よく声も出ていました。驚いたのが先生方の迫真の演技。見ていて引き込まれました。そしてさすがは三年生。子どもたちが考えた創作劇とは思えない完成度で感心しました。それぞれの個性を生かし、六人の団結力の強さが表れた内容とその演技に感動し、とても楽しく観させてもらいました。

そして最後は、皆さんの澄んだ力強い歌声で始まり、先生方も参加した合唱奏。昨年以上に素敵なハーモニーで会場を沸かせてくれました。

今年の上中祭、Smile(笑顔溢れる夢の世界)のテーマ通りたくさん笑顔を溢れた素晴らしい上中祭でした。とても有意義で素敵な時間をありがとうございました。

(二年保護者 小村 まどか)





「海風」伝統と成長

第六十五回学校新聞コンクールにおいて、海風が佳作を受賞しました。上中の伝統ある海風が高く評価されたことは実に喜ばしいことです。生徒たちのアイデア溢れる記事は、どれを読んでも想いが伝わってきます。学校での行事や部活動、地域のことや中には世論を記事にしており、情報発信としては、まさに新聞そのものといった内容に感心させられます。

また海風は、見出し、イラスト、記事の全てが手書きであり、これを四十年以上にわたり受け継いで来ていることも、評価されていることのひとつであろうと思います。手間暇かけて作り上げるその熱意こそが伝統を守り、多くの方々に愛読されている理由だと思えます。海風を読みながら、その内容に感心させられるとともに、みんな中学生らしく成長しているのだなと一人一人の成長にも感心させられます。

海風を作り上げることで視野を広げ、自分の思いを人に伝えることの大切さを学んでほしいと思います。海風が今後も多くの方々々に愛され、続いていくことを期待します。受賞、おめでとうございます。

(三年保護者 梶原 健太)

持久走大会

持久走大会

十一月二十四日、小雨の降る中、持久走大会が行われました。子どもたちはこの日のために、それぞれ目標を立て、一秒でもいい記録を残そうと練習をがんばってきました。



スタートの合図とともに勢いよく走り出したのは、五キロコースの男子。その三分後に三キロコースの女子も走り出しました。次第に強まる雨に負けじと走る子どもたちの表情は力強く、心打たれるものでした。沿道から応援する保護者や地域の方々も、雨や寒さを忘れるほど力が入りました。全員びしょ濡れになりながらも、無事完走することができ、練習の時よりもタイムを縮められたり、大会記録を更新したりとみんながんばりました。

悪天候ではありましたが、とても印象深い大会となり、がんばった子どもたちにもう一度大きな拍手を送ります。

(二年保護者 中尾 真由美)

完走おめでとう、校内持久走大会

持久走大会当日。どうか天気が回復しますようにと祈る朝を迎えました。持久走大会へ向け、平良から中甕間の往復距離を日々練習する子どもたち。練習距離が延びるにつれて「目標タイム」達成のために普段の取組では見られないほどの熱意が伝わってくる毎日でした。

いよいよ持久走大会当日、冷たい雨が降りしきる中でスタートでした。あいにくの天候にも関わらず、雨と寒さに打ち勝つ力強い走りを見て、感動の連続でした。邁進するみなさんの姿は南風のようにさわやかで、感動をたくさん与えてくれました。感動、そして元氣と勇気をありがとう。みなさん一人一人が輝く素晴らしい持久走大会でした。先生方、先生方へ感謝の言葉を込めてお伝えします。ありがとうございます。



熱心なご指導の下、それに応えるように「自分を信じて前に進む力」もみなさんから伝わってきました。

先生方、多くの温かい声援をくださった地域のみなさまに深く感謝いたします。ありがとうございました。

(一年保護者 岩崎 聡子)